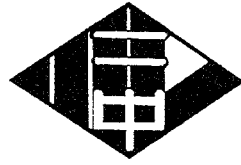


学校紹介

シリーズ ⑪



都留二中

都留第二中学校は、都留市四日市場七五〇番地（海拔四五〇m）に所在しています。

この学校は、禾生中学校、室中学校、盛里中学校、谷村中学校の一部、を統合し昭和四十一年九月に開校しました。総面積三四、八六九平方メートルの校地に、東側の半分を占める長方形のグラウンド、



▲昨年11月に市民会館で行われた親善音楽会

西側に建つ二つの校舎と屋内体育館、プール、周囲に整然と植えられたさまざまな樹木桂川の清流のほとりから朝夕ながめる麗峰富士等、良い環境に恵まれております。

クラブ活動では、全校生徒がいずれかのクラブに所属し、積極的に活動しております。なかでも、吹奏楽部は、古屋豊美先生の熱心な指導によって、最近めきめきと力をつけてきております。昨年は、市体育祭、町別野球大会などの市の行事に参加協力し、花を添えました。

文部省指定生徒指導 研究推進校として

本校は、昭和五十六、五十七年度、文部省指定生徒指導研究推進校として、生徒指導の研究実践に取りくんできました。

昨年十一月二日に地域の先生方をはじめ、県内外より約五〇〇名の参加者を得て全国公開研究発表大会が行われました。三十五名の全職員のおさぎよい取り組みと生徒のさわやかな活動は、参加した先生方に深い感銘を与え、指定校としての責を果たしました。



その後も、つぎに掲げる学級づくり七つの星を指標に円満・融和の心をもって、自ら考え、学び、実践する、強い自主性をもつ生徒の育成に取り組んでおります。

- 一、助け合い励まし合い、楽しく学習します。
- 二、かげ口、弱い者いじめをなくします。
- 三、気持ちよい言葉づかいや態度に心がけます。
- 四、自分の仕事や役割をきちんとやりとげます。
- 五、公共物を大切にします。
- 六、全員で力を合わせ、すすんで清掃します。
- 七、健康な心とからだをつくります。

豊かな人間性を 育成する生徒指導

都留第二中学校長 亀沢 正泰

豊かな人間性の育成として
本校の指導の基本姿勢は、生徒一人ひとりを理解することです。

「心と心のふれあいを深め、信頼と人間関係をより強くすること。問題を起した生徒があっても見すずに包容していくこと。下級生を含め弱い生徒の味方となり非行の根を断つこと」を教師の共通理解としてとらえ、個々の教師の特性を生かしながら、全教師が一致した指導を行ってきた。

一人ひとりの自己実現を めざす学級づくり

問題のある生徒に対する指導方法は「指導してまつ」ということです。たとえ裏切られても指導は継続する。決して見放さない。あせらず、あきらめず、人間的なふれあいやつなかりを強くしていく。つまり「まつ」ことなので

す。

学校生活の中におけるすべての活動に、生徒一人ひとりが生き生きとした姿で参加できるためには、それを支えている学級が基盤であり、生徒一人ひとりがもてる力を十分に発揮していくことが必要です。

したがって、本校の研究推進においては、学校生活の基盤は学年学級であること。教師と生徒のふれあいの場は授業であり、生徒とのつながりを強くするためには、家庭や地域との連携を深めていくこと等を共通目的として定めたのでした。

今、学校は明るさと活気に満ちた教育活動が展開されています。

私達は、この実践の一つ一つをふり返りながら、なお論議を尽す毎日ですが、結局は教師自身の変容なくして子供の変容はなかったことは、我々教師一人ひとりの胸に生きつづけることと思えます。